

地域住民がいつまでも安心して暮らせる街づくり  
に向けた在宅医療の  
活性化のための拠点事業所の活動

—人口5万人の街での在宅医療の面展開—

# 在宅医療

- 多職種連携
- 顔の見える関係性作り
- 情報の共有化

言うは易し・・・

地域地域の特性を考えてグラウンドデザインを考える必要がある

大・中都市と地方小都市では異なる

# 砺波市



高齢化率;24.7%

## 人口・世帯

(平成24年12月31日現在)

49,931人、15,982世帯

(男24,237人、女25,694人)

## 地勢

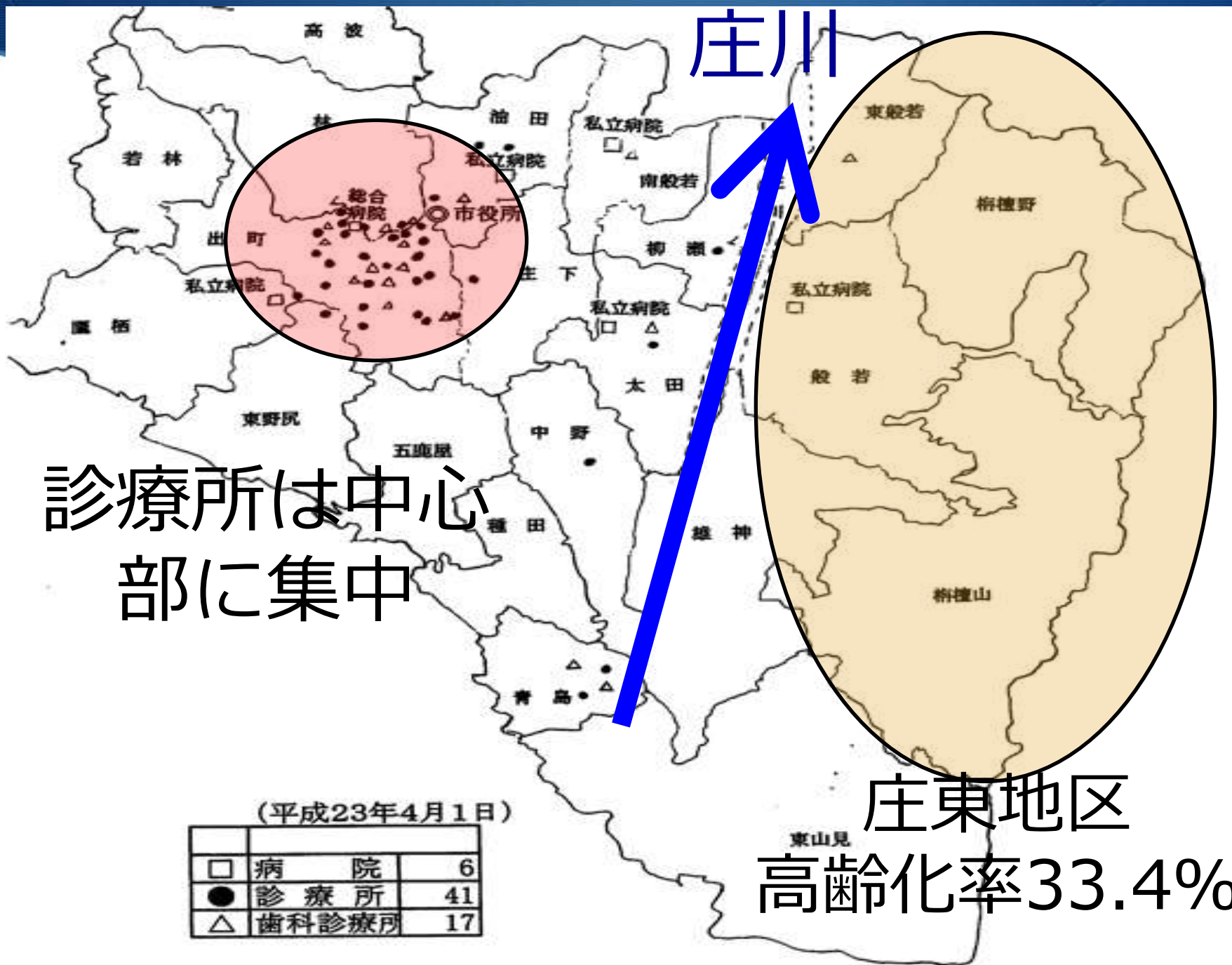
面積 126.96平方Km

東西延長 14.3キロ

南北延長 16.2キロ

最高標高 987メートル





# 医療法人ナラティブホームの 拠点事業所としての役割

1. 強化型在宅療養支援診療所として在宅療養の  
中心的な、在宅医療のコーディネーター、ゲ  
ートキーパーとしての役割を果たす  
地域での看取りの文化の再考
2. 砺波地域の医療、介護、福祉、行政の連携の  
中心的役割を果たす
3. 連携ツールとしてのITの活用方法の構築
4. 地域住民のニーズの把握と、啓蒙活動

# 強化型在宅療養支援診療所として在宅療養の中心的な、在宅医療のコーディネーター、ゲートキーパーとしての役割を果たす

## S 地域総合相談外来の開設（無料）

S 退院後の在宅医療についての相談（人工呼吸器装着等の医療度が高い患者）

S 在宅療養継続の相談（足がなく通院困難、独居、老老の夫婦・親子・兄弟）

S がん患者・非がん患者の終末期への対応（在宅看取りの相談）

S 医療・介護・福祉の資源の説明

## S 終末期医療の実践

S 在宅看取り数 約60名、看取り率90%以上

# 砺波地域の医療、介護、福祉、行政の連携の 中心的役割を果たす 地域住民のニーズの把握と、啓蒙活動

## S ものがたり在宅塾

S 多職種連携編 8回

S ナラティブ編 12回

S 市民公開編 7回

S セミナー編 5回

S 市民フォーラ 1回 ( 3月2日 )

S 砺波市リーダー研修会 1回 ( 2月10日 )

# 連携ツールとしてのITの活用方法の構築

- S 資源マップの作成；どこでも誰でも作成できて、利用できるものを目指す。Google Map を利用し、自分達でサイトを立ち上げられるアプリ
- S 地域の書類の山、情報の拡散 / 重複
- S 集約システムの設計
  - ➡ ナラティブライター (NW)



ルート・乗換案内 マイブレイス



航空写真

交通状況

- ながいクリニック
- 中野診療所
- 仲村皮膚科医院
- なす整形外科クリニック
- ひがしでクリニック
- 藤井整形外科医院
- 伏木医院
- ものがたり診療所
- ものがたり診療所太田
- ものがたり診療所庄東
- 柳下小児科内科医院
- 柳澤医院
- やました医院
- 山本内科医院
- おおた内科クリニック
- 平川医院
- 市立砺波総合病院
- 安念歯科医院



# ナラティブ・ライター

- S 何故、診療情報提供書等はいろいろな書式があるのか。それらを一つにまとめる事は試みられてきたが、皆頓挫
- S 各職種で必要な情報の種類・重要度が異なる
- S データは誰のものか、それは、個人のもの。ならば病院のカルテを結ぶなどのインフラ整備では限界がある
- S 発想の転換
- S 個人情報は個人に持たせるのがシンプル。個人の価値観や事前指示も含めた情報を一つに集約
- S 個人の承諾を受け、各職種が必要なデータのみをダウンロードする。



医師

疾患名・病歴  
服薬情報  
医療処置情報  
要介護度  
胃瘻の希望  
心肺蘇生の希望等の事  
前指示

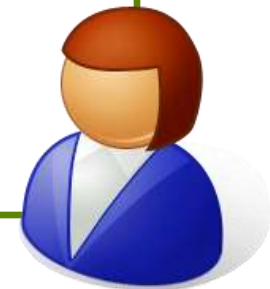


ケアマネージャー

要介護度  
介護サービス  
家庭環境  
ADL  
住宅環境  
疾患名・病歴

サマリー情報の他に、  
患者の予定表  
自宅地図などの画面も表示可能

既往歴  
要介護度  
利用中介護サービス  
住宅環境  
ADL  
家庭環境  
・  
価値観  
事前指示



権限があれば全ての情報を展開して表示可能